

# 会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 5 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議について（公開）

①意見交換

②その他

3 開催日時

平成 29 年 11 月 24 日（金） 午後 7 時から午後 7 時 55 分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）  
滝沢隆行、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子、山岸 愛  
山岸一之 （欠席 1 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長

8 発言の内容 （要旨）

**【野口係長】**

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【星野会長】**

- ・挨拶
- ・会議録の確認：石黒委員に依頼

議題「(1) 自主的審議」の「①意見交換」に入る。10月26日に移住促進諏訪の会による須坂市役所と信濃町にあるNPO法人ざいごう（以下、「ざいごう」と言う。）の視察研修が実施された。皆さんからは一般として参加いただいた。

帰りのバスの中で、視察の感想を述べ合ったが、それをまとめたものが資料No.1であり、移住促進諏訪の会から資料提供を受けたものである。

今日は参加した委員の方から改めて視察の感想をいただきたいと思う。ホワイトボードに要点を書いて共有したいと思うが、西嶋委員に依頼したいと思うがよいか。

（「よし」の声）

一通り終わったら全体でフリートークを行いたい。

#### 【川上奈津子委員】

初めて参加して、印象に残っているのは、ざいごうの古澤理事長さんが「今は空き家が足りなくて困っている」と仰っていたのが凄いと素直に感心した。とにかく古澤さんの情熱が凄くて、最初は地域住民からも冬の大工仕事の私腹の肥やしにするのではないかと、という反感や偏見もあったらしいが、それを乗り越えて軌道に乗っていると聞いた。

諏訪区も先般の綱引き大会で準優勝したが、小さい地域の中から準優勝できるような力を持っていることに気づいて、住んでみたいと思ってくれる人の橋渡しができたらよいと思った。

#### 【滝澤委員】

須坂市でやっているのは、ありがたいことだが行政として普通だと思った。上越市では、置かれる環境も違い、なかなか難しいところだと思った。ざいごうの代表である古澤さんは、年齢もそれなりにいっているのにパワーや熱意が凄かった。やはりパワーを持っている方がいることが大きいと思った。諏訪も、そういう方が来てくれるのが一番よいし、そういう人がいっぱい集まってくれたらよいと感じている。

諏訪も良いところはたくさんあるし、綱引きも毎年上位に食い込む実力を持っているので、アピールするポイントは結構あると思う。ホームページを使ってアピー

ルして行って、少しでも転入者を増やせるように、今後は課題を出していきたいと思っている。

#### 【松縄委員】

ざいごうは、これまで2回伺って夫婦で一緒にしてくれた。夫婦で一緒の方向を向いているというのは、古澤さん自身もとてもやりやすいのではないかと思った。奥さんの協力があるというのは一番だと思った。パワーを持って相手を引き付けるような話し方をしているので、そういうことの全てが移住してくる人たちにも、伝わっているのだと思う。

#### 【山岸愛委員】

初めて参加したが、自分たちとは違ったやり方で、各地域でいろいろな活動されていることを知れたのがよかった。

須坂市は、民間団体ではないということで、話的には凄いなと思ったが、実際に移住に役立つかということはさて置き、いただいた資料は読み応えがある。中身を読んでみて、さすが行政がやっているだけあって、外に対するアピールがうまいと思った。諏訪はホームページもあるので、表に出していく素材1つで、訴える力は変わっていくのだと感じた。外への情報の出し方等は参考にできるのではないかと思った。

可能性はあるのだということを再確認できた。夢ではなく、希望や目標みたいなものが見えたと思う。

#### 【川上副会長】

今回初めて参加したが、須坂市のほうが少し田舎だが、高田と変わらない程度の人口で、この辺と大して変わらないのかなという印象を受けた。行政と信濃町のマンパワーでやっている両方を見たが、非常に参考になったと思う。課題になっているのは、地域住民と理解をし合えるかが大事だと思う。地元住民から理解していただいて、いろいろなことで協力いただかないといけない。これから始まるわけなのだが、難題が山積みである。皆さんから我々の取組を理解していただき、協力していただかないとなかなか進まないということをつくづく感じた。

古澤さんの情熱は、本当に大したものなので、あのお歳でできるということは我々にも見込みはあるのかという気がした。頑張っていけたらよいと思った。

## 【西嶋委員】

須坂市の行政の取組は移住促進にかける想いというか、力の入れ方が違うと思った。必ず成果を上げるという強い意識を感じた。数人の担当者がやっているが、担当者もすごく熱心だと感じた。須坂市の特徴は仕事と住む家がセットになって移住促進を進めていることで、これは凄いことだし、単身者にとっては魅力的なのかと思った。平成 26 年度から移住促進に取り組んでいて、4 年で成果を上げている。どのように取り組んでいるかという、まずは、移住先としての知名度のアップ、移住希望者の積極的な受け入れ、受け入れ相談体制の充実という段階を踏んでそれぞれ目標値を決めて積極的に行っていると思った。もし、移住促進を諏訪でもやるとすれば、諏訪は良いところだという知名度を上げていかないといけないだろうし、そういうところは参考になるかなと思った。

ざいごうの民間主導の移住促進に関しては、古澤さんは大工さんだということで、その技術を活かして空き家を改修して、移住者へ提供しているということである。自分の専門性を活かしつつ、やっていらっしゃるのでよいと思った。また、ざいごうのホームページの活用や、地域内でも活動に対する理解が得られているし、行政とも連携しているとのことで、上手くいっているのかなと感じた。

諏訪区で移住促進を進めていくうえで、課題や必要なことを皆で話し合う機会を持って、共通理解を図ったうえで、具体的な目標値を掲げて、そのためにどのようなことができるのかというふうにできたらよいと思った。まずは地域住民の共通理解が大事だと思った。

## 【星野会長】

須坂市は行政主導なのだが、行政だけでは駄目だし、民間団体だけでも進まないもので、横の連携が大事だとつくづく感じた。須坂市は民間の団体はないということだったが、住民のいろいろな理解があって進んでいるのかなと思う。始めてから 3 年間で 47 人の移住者があったということはその表れだと思う。

何もしなければ何も始まらないということを実感した。何か種をまけば結果が出てくるのかなと思う。その芽を出すための肥料を、一生懸命皆さんで頑張った結果から 47 人という数字が出てきたのだと思う。

ざいごうも、空き家が移住者によりみんな埋まって活用されているということは、

担当者の熱意と情熱を感じた。諏訪区でもコツコツ進めていく必要性を感じたが、具体的にパンフレットを作ったり、ホームページを充実させたり、動画でも作って紹介できたらよいと感じた。

#### 【野口係長】

内山松男委員はまだ見えていないのだが、宿題を預かっているのので、代読させていただく。

須坂市は行政の取組で実施しているということであり、気候についてはリゾート地であって諏訪地区とは違い、住み良い地域であるために、ほぼ全国的に知られている。移住に当たっての企業とのタイアップや子育て施設や受け入れ態勢が充実している。また行政のPR活動が大きい。

ざいごうの取組については、気候については須坂市と同様でリゾート地で諏訪地区と違い住み良い環境にある。移住者も含め、人とのつながりを大切にしている。外部だけでなく、地元で認知されることが大事だ。

#### 【星野会長】

今回の視察は、移住促進諏訪の会をはじめ合計16人で行ってきて、一般参加の協議会委員8人から一言ずつ感想を述べていただいた。

次に「②その他」に入る。ここでは、事前の宿題の2つ目になるが、視察を通じて、来年度の地域活動支援事業では、どんな事業が考えられるかについて、フリートークで意見交換を行う。

#### 【山岸一之委員】

2年目になるが、いろいろディスカッションする中で、戸惑いもあったがここまでできた。よく話し合いながら諏訪地区全体を高めていくということで、話合いの場をこれから持っていかななくてはいけないのかなと思う。

#### 【山岸愛委員】

折込チラシの中に入っていたのだが、地域活動支援事業を活用してチラシを折り込むという三和区の「地域を大切にする会」の勇気が凄いなと思った。内容が婚活パーティーなのだが、発想はなるほどと思った。残念なのは、このチラシでは、クリスマスパーティーで何が食べられるのか分からないし、米本陣で20時に終わるのに、どうやって帰るのが分からない。と思いながらも、やったことが凄いなと思う。どな

たか三和区に知り合いの方がいたら、この結果がどうなったか教えてほしい。

諏訪でこれをやれるかと言えば、ハードルが高いが、若い人が参加できるイベントを積極的に考えていて、地区外の人にアピールしようとしている心意気が凄いなと思った。諏訪は地区内で賄おうとする比重が大きい気がするので、地区外の人にアピールできるような活動を考えていけたらよいと思う。今やっている子どもたちのためのハロウィンパーティーもよいのだが、そのために遠くからやって来るかというところは弱いと思う。何かアイデアを出しながら、近隣の人たちが見に来れる何か具体的なものを考えていかなければいけないと、このチラシを見て思った。

#### 【松縄委員】

昨日、息子と地域活動支援事業の話をしていたが、諏訪っ子クラブにお金をかけたかどうかという話だった。夏休みに楽しみながら遊びながらできる講師を呼んで、各学年にあった勉強を教えてあげたりすることに使ったらどうかという話をした。

#### 【星野会長】

確認だが、ここで話しいただきたいのは、今回視察に行った移住促進に関して今後どうしたらよいかということだ。あまり窓口を広げると話がまとまらないので、視察研修をしてきた中で今後移住促進に関連のある内容で地域活動支援事業への提案に結びつくような意見をいただきたい。

#### 【滝澤委員】

空き家・空き地について、その情報をホームページに載せて整理するにはお金が掛かってくるので、そこに地域活動支援事業が使えたらよいと思う。また、会社をやっている人が多いので、ホームページに会社紹介の案内を出してみて、移住したときの就労の受け皿として載せられるようなかたちで使えたらよいと思う。

#### 【川上奈津子委員】

とにかく勉強することが大事だと思うので、研修会はもう少し続けたほうがよいと思う。それと、ホームページを利用して移住促進の取組をアピールしていく方法に使えたらよいと思う。

米岡にも空き家があるのだが、そこを誰が所有しているのかが分からない家もある。そういうのを調べるのにも地域活動支援事業を使っていけたらよいと思う。

#### 【内山松男委員】

遅れての出席です。

市の移住促進に対しての補助金や制度を知ることが大切だと思う。また、移住に対して空き家や空き地の実態確認が大切だと思う。実際に蓋<sup>ふた</sup>を開けてみたら、誰も譲ってくれないとなったら困るので、その確認が大事だと思う。

事業提案としては、土地等の不動産の売り買いの協力を確認する必要がある。また、今の諏訪の里づくり協議会で取り組んでいるものも利用して、そこに移住に向けての活動をプラスアルファして取り組んだらどうかと考えている。活動の財源についての検討も必要と考えている。また、いきなりあっちもこっちも手広くやると素人なのでできないので、一步一步進めていったらよいと思う。

#### 【内山恵吾委員】

先ほど、ざいごうは活気があったという話があったが、諏訪地区もまず若い人に活気がないと全般的に活気が薄れてくるのではないかと思う。私自身の経験から言うと、結婚していないと小学校の運動会等の行事に顔を出したくないという意識が強くなることがある。町内の運動会に若い人に出てもらいたいと思うが、「うちの子は出たくないと言っている」と言って、親が反対するのである。若い人がまず集まって何か皆さんでやって、湧き上がればよいのではないかと思う。

#### 【石黒委員】

視察先でも地域住民の共通の理解が大事だということを話されていたが、私も痛切に思う。せっかく地域協議会の中で素晴らしい意見が出て、実際に地域と結びつけていく役割が必要なのだと思っている。今後、微力ながらも皆さんから理解していただけるような行動をとっていきたいと思った。

#### 【川上副会長】

この地区をもっとPRできないかなと思っている。幸い、川室記念病院の医療法人常心会さんのグループが「はさ木マラソン」や「はさ木フェスタ」、「ひまわり畑・ひまわりアート展」など、いろいろな事業をしてくれているので、もっと地域全体で協力して良いお祭りが諏訪にあるということをPRできないかと思う。ホームページを使って、こんなに良いところなのだということをもっと打ち出して、もっと外に発信できたらよいと思う。せっかく立派な「はさ木」があるので、イベントがあるときに一緒に地元の農産物を販売する等ができてよいと思う。せっかく、地元

よい企業、医療法人などがあるので、タイアップしたり、仕事先としても使っていただけのではないかと思うので、そういうところも含めてPR できたらよいと思う。空き家等、いろいろな問題も出てくるが、それはそれで考えていければよいと思う。

**【星野会長】**

ホームページで、移住促進諏訪の会を紹介できるところが開設できたらよいと思う。また、ざいごうで近所の人や移住してきた人が誰でもお茶飲みができる「縁側」があったが、そのようなお茶飲みができるようなオープンスペースができたらよい。どこか場所があれば、地域活動支援事業を利用して、リフォーム等の改修ができたらよいと思う。

全体的には、この辺で終了する。

次回の開催日について事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・次回の開催日について説明

— 日程調整 —

**【星野会長】**

- ・次回の協議会：12月14日（木）午後7時から 諏訪地区公民館

11月21日に会長会議が行われたのだが、会議の席で他の地区との合同の話合いを進めたらどうかという話が出た。そこで、高士区、津有区の会長と来春ころに、意見交換会を設けたいという話が出ているので、よろしく願います。

引き続き、移住促進諏訪の会が開催されるので出席をお願いします。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。